

『小学音楽 音楽のおくりもの 5』評価計画

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	楽器	音楽 づくり	鑑賞
<導入> 「夢色シンフォニー」 p. 4～5 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「夢色シンフォニー」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。 【技-①】 各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「夢色シンフォニー」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「夢色シンフォニー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「夢色シンフォニー」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		唱歌	楽器	音楽 づくり	鑑賞
<スキルアップ> 「花のおくりもの」 p. 6 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「花のおくりもの」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付けて「花のおくりもの」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌声や旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 歌声や旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「花のおくりもの」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 全員で表現をそろえることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 全員で歌唱表現をそろえることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞	
<スキルアップ> 「クラップ フレンズ」 p.7 (毎時扱い)	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「クラップ フレンズ」の曲想と、強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
	(2) 手拍子の強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 手拍子の強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、自分たちの演奏する「クラップ フレンズ」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	(3) 全員で表現をそろえることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、手拍子によるリズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 全員で表現をそろえることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○=本評価規準例における中心的な項目
5年 p. 8~11

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞	
<にっぽんのうた みんなのうた> 「こいのぼり」 (共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「こいのぼり」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○	○		
	(2) 旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「こいのぼり」の旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「こいのぼり」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
和音や低音のはたらき p. 12~17 (4時間扱い・4~5月)	(1) 曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
			ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
			(3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	茶色の小びん 和音のはたらきを感じ取ろう	○「茶色の小びん」の主旋律と低音を合わせて演奏する。 ○ハ長調の音階、和音について知り、「茶色の小びん」を和音を感じながら演奏する。	【技-①】 ハ長調の楽譜を見て「茶色の小びん」を歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主-①】 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	曲想と音の重なりや旋律との関わりについて理解するとともに、和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきょうの人々	○「こきょうの人々」を旋律と和音、旋律と低音、旋律と和音と低音、それぞれの組み合わせで演奏して比べ、気付いたことを話し合う。 ○「こきょうの人々」を、グループで演奏の工夫をする。	【知-①】 「こきょうの人々」の曲想と、音の重なりや旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「こきょうの人々」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
声のひびき合い p. 18～23 (6時間扱い・6～7月)	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			○
			各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。	○			○
(3) いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちなりの表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちなりの表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	いろいろな形態の合唱に興味をもつとともに、声の重なる響きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、それぞれの形態の演奏のよさを見出して聴く。	◎いろいろな合唱	○声の種類や合唱形態について知るとともに、女声合唱と男声合唱を比較して聴き、気付いたことを交流する。 ○女声、男声、児童、混声ごとに、気付いたことや魅力についてまとめる。	【主-①】 いろいろな形態の合唱を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 声の重なる響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いている。

4	声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律どうしの関わりを聴き取り、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、自分たちなりの表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	ハロー・シャイニング ブルー	<p>○「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴を捉え、全員でイメージを共有して上声部を歌う。</p> <p>○下声部を捉え二部合唱し、声部の関わり合いや全体の響きを確認する。</p> <p>○曲の仕組みや特徴について、意見を出し合ったり確認したりして歌う。</p> <p>○「こう歌いたい」という内容を出しあって、更に工夫し、思いや意図を大切に二部合唱する。</p>	<p>【主-②】 自分たちなりの表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>【技-①】 各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「ハロー・シャイニング ブルー」を歌う技能を身に付けている。</p> <p>【思-②】 声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【知-①】 「ハロー・シャイニング ブルー」の曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。</p>
---	---	-------------------	---	---

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞	
<めざせ 楽器名人> 「星笛」 p. 24~25 (毎時扱い・6~7月)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	<p>【知-①】 「星笛」の曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。</p> <p>【技-①】 各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて「星笛」を演奏する技能を身に付けている。</p>	○			
	(2) リコーダーの音色やフレーズ、旋律同士の関わりを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	<p>【思-①】 リコーダーの音色やフレーズ、旋律同士の関わりを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「星笛」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>		○		
	(3) 声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	<p>【主-①】 声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈音のスケッチ〉 和音に合わせて せんりつをつくろう p. 22～23 (2時間扱い・7月)	(1) 旋律と和音の関わり、旋律のまとまりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 旋律と和音の関わり、旋律のまとまりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	
			【技-①】 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 旋律や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 旋律や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	(3) I IV Vの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音や旋律づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 I IV Vの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
オーケストラのみりよく p. 28～31 (3時間扱い・9月)	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴き、オーケストラの音楽を楽しむ。	◎組曲「カレリア」から「行進曲風に」	○オーケストラの楽器の名前や、楽器群について知り、組曲「カレリア」から「行進曲風に」を、オーケストラの響きを楽しんで聴く。 ○旋律の反復と変化に気付き、楽器群の音色を捉えて聴く。 ○曲の構造や旋律を演奏する主な楽器の変化を捉え、曲全体を聴く。	【主-①】 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「行進曲風に」の曲想と、楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 「行進曲風に」の楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌 唱	器 楽	づ く り 音 楽	鑑 賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「赤とんぼ」 P. 32～33 (1時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「赤とんぼ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○		
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「赤とんぼ」を歌う技能を身に付けている。	○		
	(3) 歌詞の抑揚や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の歌曲に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「赤とんぼ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
			【主-①】 「赤とんぼ」の歌詞の抑揚や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	楽器	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
音楽の旅 p. 34~41 (6時間扱い・10~11月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○	○		
	(2) いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりする。	思考・判断・表現	いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりしている。	○	○		○
(3) 我が国や諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国や諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○	

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱いや時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2+ α	曲想と旋律などとの関わりについて理解するとともに、我が国の音楽の旋律や声、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見出して聴く。	子もり歌(共通教材) ◎会津磐梯山 ◎音戸の舟歌 (日本の民ようをたずねて)	○日本の子もり歌の節回しや旋律の特徴を生かし、表情豊かに歌う。 ○民謡を歌う声の出し方や節回し、拍に注目して、「会津磐梯山」と「音戸の舟歌」、身の回りの声の表現を聴く。 ○日本の民謡を、声の出し方や節回しの面白さなど、よさや特徴を感じ取りながら聴く。	【知-①】 「子もり歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 我が国の音楽の旋律や声、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見出して聴いている。 【主-①】 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

2+ α	呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、我が国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきりこ節 (谷茶前)	○「こきりこ節」を、声の出し方や旋律の動き、呼吸や発音に気を付けて歌う。 ○「こきりこ節」を楽器の伴奏を加えて歌う。 ○「谷茶前」の演奏を聴き、曲想に合った表現の仕方を工夫して歌ったり、沖縄の音階やリズムの特徴を生かした音楽をつくったりする。	【技-①】 呼吸及び発音に気を付けて「こきりこ節」を歌う技能を身に付けている。 【思-②】 「こきりこ節」の旋律や声、楽器の音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-②】 沖縄県民謡の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。
2	いろいろな国の音楽の、様々な旋律や声、楽器の音色、音の重なりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見出して聴くとともに、諸外国に伝わる音楽の特徴や人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎世界の声の音楽 ◎世界の楽器のひびき	○世界のいろいろな国の音楽を鑑賞し、それぞれの音楽や表現のよさや面白さを味わう。 ○声や楽器のなかから一つ選んで、よさや面白さについて発表する。	【主-②】 諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-③】 いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見出して聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
豊かな表現を求めて p. 42~45 (4時間扱い・11~12月)	(1) 曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目 △=関連する項目

の時間 扱 め 数 い	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
4	曲想と拍やその流れ、歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	風とケーナのロマンス 冬げしき (共通教材)	○「風とケーナのロマンス」の曲想や特徴を捉えながら、各声部をリコーダーで演奏する。 ○グループごとに演奏の工夫をする。 ○発表して意見を交流する。 ○「冬げしき」を主旋律の流れを確認し、曲想を感じ取って歌う。	【主-①】 「風とケーナのロマンス」の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「風とケーナのロマンス」の拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて「風とケーナのロマンス」を演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「冬げしき」の曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	昌歌	楽器	くづ楽賞鑑
＜音のスケッチ＞ いろいろな声で 音楽をつくろう p. 46～47 (2時間扱い・12月)	(1) 多様な声の表情や強弱について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 多様な声の表情や強弱について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。		○
	(2) 多様な声の表現を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	【思-①】 多様な声の表現を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。		○
	(3) 詩をもとに声で音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 詩をもとに声で音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「スキーの歌」 (共通教材) p. 48～49 (2時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「スキーの歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			【技-①】 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて「スキーの歌」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「スキーの歌」の旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「スキーの歌」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

5年 p. 50～51

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 様々な曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	様々な曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と旋律などとの関わりについて理解するとともに、楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎つるぎのまい	○「つるぎのまい」を、曲の特徴に気を付けながら全体を通して聴く。 ○曲想とその変化などの特徴や、音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表わし、曲の面白さや特徴を理解する。 ○曲全体の特徴や演奏のよさを味わって聴き、曲のよさや面白さについてまとめる。	【主-①】 「つるぎのまい」の様々な特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「つるぎのまい」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 「つるぎのまい」を演奏している楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。

5年 p. 52~53

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
わたしたちの表現 〈選択A 器楽〉 (3時間扱い・2~3月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりを理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。	○		
			各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○		
	(2) 声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	
(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、短調の響きや器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	声部の関わり合いや全体の響きの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	ルパン三世のテーマ	○「ルパン三世のテーマ」の曲想を捉え、それぞれのパートを分担し、自分の担当するパートの役割や特徴について考える。 ○合奏したり、パートごとに練習したりする。 ○合奏を仕上げ、学習活動を振り返る。	【知-①】 「ルパン三世のテーマ」の曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 【主-①】 「ルパン三世のテーマ」を音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 「ルパン三世のテーマ」の各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「ルパン三世のテーマ」の声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

5年 p. 54～55

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
わたしたちの表現 〈選択B 歌唱〉 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部の歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○		
			各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、短調の響きや合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	声部の関わり合いや全体の響きの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	君をのせて	○「君をのせて」の主旋律の歌い方を工夫する。 ○下声部を捉え、二部合唱したり、パートごとに練習したりする。 ○合唱を仕上げ、学習活動を振り返る。	<p>【知-①】 「君をのせて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。</p> <p>【主-①】 「君をのせて」を声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>【技-①】 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、「君をのせて」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「君をのせて」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>

5年 p. 56～57

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌 唱	器 楽	づ 音 楽 づ り	鑑 賞
<音のスケッチ> ずれの音楽を楽しもう (2時間扱い・3月)	(1) 反復するリズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能 【知-①】 反復するリズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムのずれによる音のかみ合わさを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現 【思-①】 リズムのずれによる音のかみ合わさを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	○
	(3) リズムのずれによる音のかみ合わさりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、インターロッキングの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度 【主-①】 リズムのずれによる音のかみ合わさりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づ く り 音 楽	鑑賞
〈変奏曲を楽しもう〉 ピアノ五重奏曲「ます」 第4楽章から (3時間扱い・随時)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	【知-①】 「ます」第4楽章の各変奏の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。			○
	(2) 主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 「ます」第4楽章の主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。			○
	(3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○=本評価規準例における中心的な項目